

1. 事業説明シート

<b>事業名</b>	農地防災事業[用排水施設等整備事業(国補)]	<b>事業箇所</b>	西八代郡市川三郷町黒沢	<b>地区名</b>	だいどう 大同	<b>事業主体</b>	山 梨 県
------------	------------------------	-------------	-------------	------------	------------	-------------	-------

**(1) 事業の概要**

**①課題・背景**  
 本地区は市川三郷町西部の一級河川富士川左岸沿いの平坦な農村地域であり、富士川との高低差が少ないため、地区内の排水対策が極めて重要な地域である。  
 しかしながら、大同排水機場は竣工から34年が経過し、経年劣化によるポンプの故障が頻発している状況であり、近年多発傾向にある集中豪雨に対する今後の排水対策に不安を抱えている。  
 また、この地域は排水受益内にJR身延線や県道、人家等も存在することから、排水施設の脆弱化により洪水が発生した場合には、農地だけではなく公共財産等においても甚大な被害の発生が懸念される。  
 このため、早期に対策を講じることで災害を未然に防止し、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全確保を図るものである。

**②整備目標・効果**  
 □主要目標 ○農業用排水能力の向上  
 ・施設老朽度(使用年数34年)÷(耐用年数20年)=1.70≥1.00 ※  
 ・用排水能力向上率(計画排水能力3.6m<sup>3</sup>/s)÷(現況排水能力3.6m<sup>3</sup>/s)=1.0≥1.0※  
 (※評価基準値)

□副次目標 —

□副次効果 ○農地の保全(農地の埋没の恐れあり)  
 ○既存施設の崩壊危険性の排除(主体構造物である)

**(3) 事業の妥当性評価** 妥当 妥当でない

**①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か)**

・本事業は食料・農業・農村基本法に位置づけられている、農業の持続的発展、食料の安定供給、多面的機能の発揮に資するものであり、行政が行うべきものである。

**②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか)**

・土地改良法施行令第50条第1項7の8号により県が事業主体となって行うべきものである。

**③経済妥当性**

総事業費	440 百万円	工期	R5 ~ R8	基準年	R4
経済効率性	費用	956 百万円	便益	1,717 百万円	
	事業費用	331 百万円	災害防止効果	1,622 百万円	
	その他費用	625 百万円	作物生産効果	123 百万円	
			維持管理費節減効果	-28 百万円	
	B/C	1.8			

費用便益比(B/C)は、1.0を超えており、経済効率性は確保されている。

**④事業実施・規模の妥当性**

・災害に強い施設に改善する上で必要な整備量としている。

**⑤整備手法の有効性**

・受益面積規模、事業対象工種から、用排水施設等整備事業で対応することが妥当である。

**⑥環境負荷等への配慮**

・排水機の更新により排ガス等環境負荷軽減へ配慮したものである。

**⑦事業計画の熟度**

・早期着工の要望有り

**総合評価** [貢献度ランク: a]

**(2) 整備内容**

**①整備内容** 排水機場1箇所(土木構造物防水対策)、排水機2台(更新整備)

**②着手年度** 令和5年度 **③完成見込年度** 令和8年度

**④総事業費** 約440百万円  
 (国費242百万円(5.5/10) 県費110百万円(2.5/10) 町費88百万円(2.0/10))

**⑤年度別の整備内容 (事業費)**

令和5年度	測量・設計	25 百万円
令和6年度	排水機更新整備	200 百万円
令和7年度	排水機更新整備	135 百万円
令和8年度	土木構造物防水対策・排水機更新整備	80 百万円

※記載内容は見込みであり、確定したものではありません。

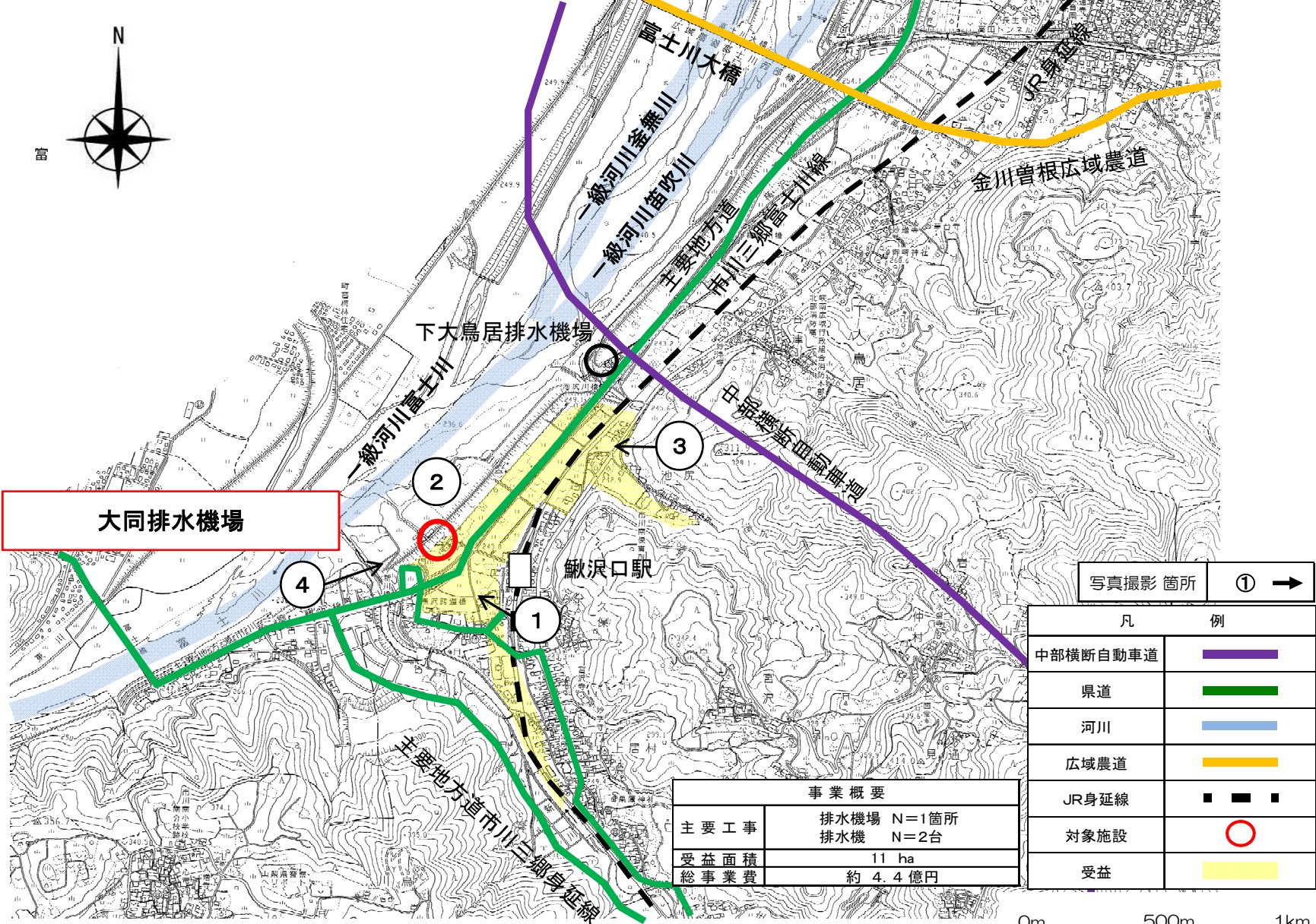
**⑥既整備内容・期間・事業費**

- ・事業名 排水対策特別事業
- ・整備内容 排水機場1箇所、排水機2台(新設1台,既設1台)、排水路L=730m
- ・整備期間 昭和60年~平成元年
- ・総事業費 約6.3億円

**(4) 事業位置図等**

地理院地図(国土地理院)を加工して作成

だいどう  
**農地防災事業[用排水施設等整備事業] 大同地区 一般計画平面図**



**大同排水機場**

写真撮影箇所 ① →

凡 例	
中部横断自動車道	
県道	
河川	
広域農道	
JR身延線	
対象施設	
受益	

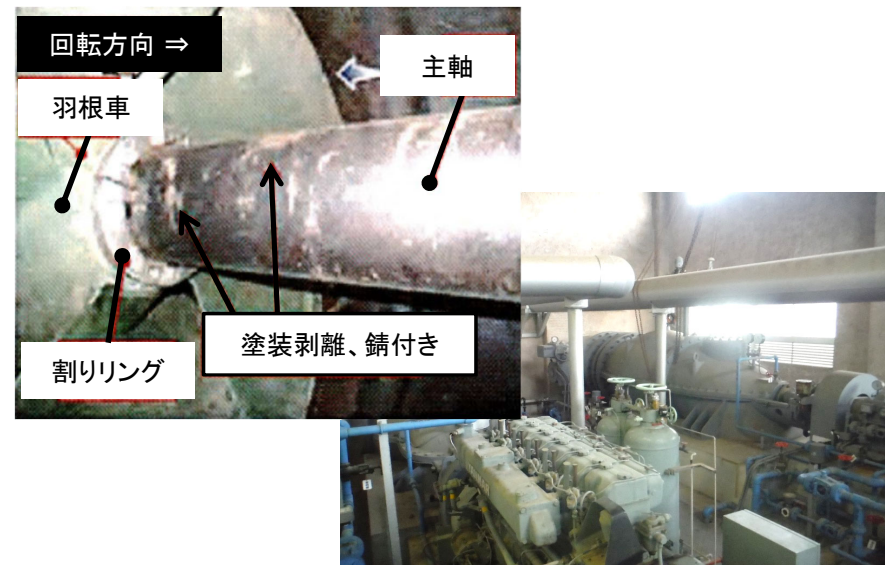
事業概要	
主要工事	排水機場 N=1箇所 排水機 N=2台
受益面積	11 ha
総事業費	約 4.4 億円

0m 500m 1km

2. 添付資料シート(2)



①大同排水機場の全景



②ポンプ内部の劣化により、排水機能の低下が懸念される。



③受益地内の栽培の状況



④湛水想定範囲には農地や人家、県道などがあり早急な対応が求められている。